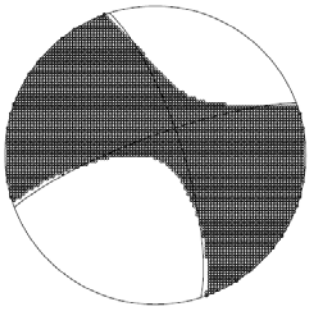
３月 24 日　ミャンマーの地震
（W-phase を用いたメカニズム解析）

W-phase による解

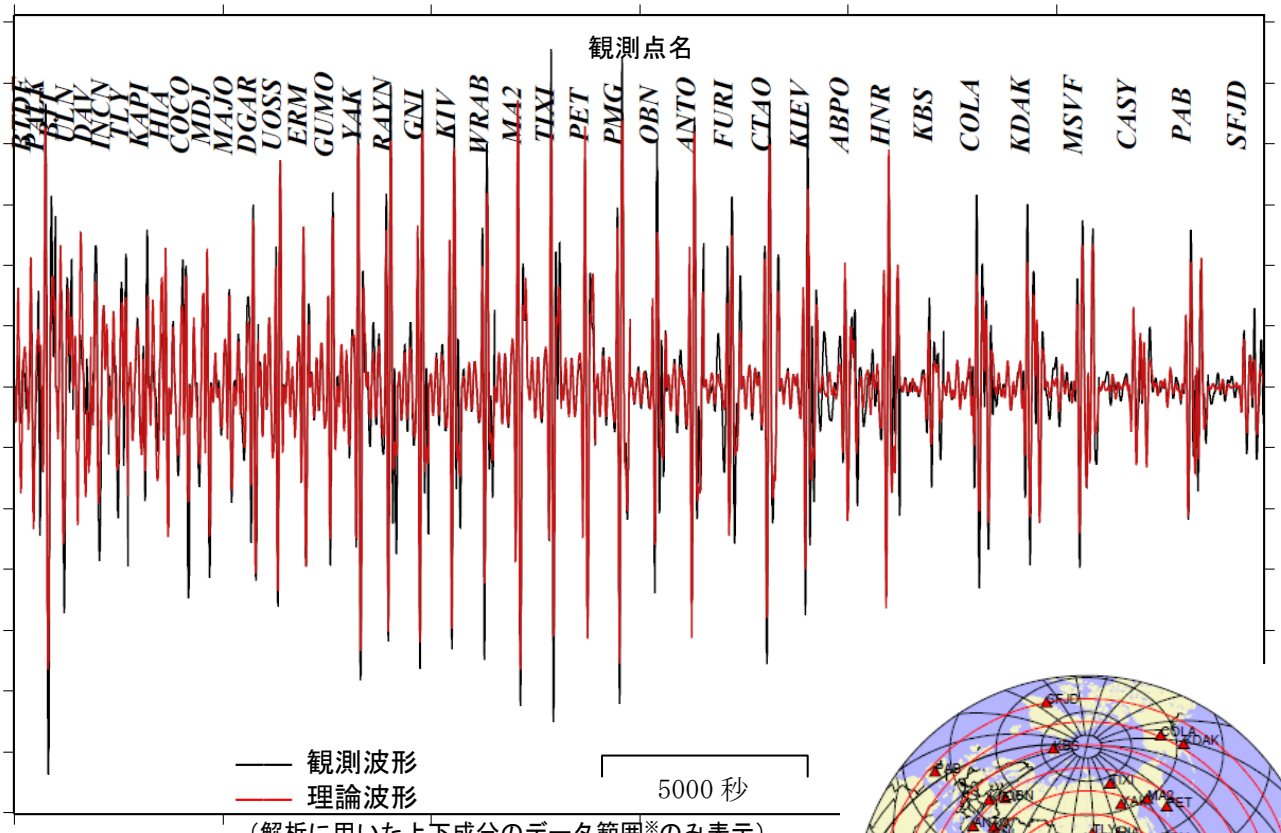


2011 年３月 24 日 22 時 55 分（日本時間）にミャンマーで発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mw とも、Global CMT などの他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mw は 6.8 であった。なお、震央の最適位置は N20.8°,E99.8° となった（深さは USGS による 10km を使用した。）

W-phase の解析では、震央距離 15°～90° までの 39 観測点の上下成分を用い、100～300 秒のフィルターを使用した。

注）W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。

Mw6.8(6.84)



（解析に用いた上下成分のデータ範囲※のみ表示）

※解析に用いたデータの範囲は 15 秒×震央距離（度）としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

解析に使用した観測点配置

（W-phase に関する参考文献）

Kanamori, H and L. Rivera (2008): Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。また、解析に使用したプログラムは金森博士に頂いたものを使用した。記して感謝する。

気象庁地震予知情報課作成